

21世紀かながわ円卓会議

地球と地域との協働の道－社会関係資本を組み立てる

開催概要

日 時	2007年3月16日(金)午後1時30分開始(午後1時開場) から17日(土)午後5時10分終了
会 場	湘南国際村センター・国際会議場(神奈川県葉山町)
主 催	(財)かながわ学術研究交流財団
構 成	問題提起の講演と討論で構成される円卓会議
参加費	1,000円 参加募集 60名(2007年2月28日(水)申込必着)
申込方法	FAX 申込書もしくは E-mail に必要事項を記載してお申込下さい。
詳 細	http://k-face.org/work/round-table/index.html

◎ 総 監 修 ・ モデレーター

樺山紘一 東京大学名誉教授、印刷博物館館長

◎ 基調講演者

大岡 信 詩人、文化功労者、文化勲章受章者

◎ 講演者 (講演順)

大原謙一郎 大原美術館理事長
藤原帰一 東京大学大学院法学政治学研究科教授
諸富 徹 京都大学公共政策大学院助教授
小林重敬 横浜国立大学工学研究院教授

◎ 討 議 者 (五十音順)

五十嵐武士 東京大学大学院法学政治学研究科教授
池田清彦 早稲田大学国際教養学部教授
岡部直明 日本経済新聞上席執行役員・論説主幹
金澤史男 横浜国立大学大学院国際社会科学部研究科長
北川フラム アートフロントギャラリー主宰
工藤裕子 中央大学法学部教授
陣内秀信 法政大学工学部教授
鈴木佑司 法政大学法学部教授
高島肇久 外務省参与
露木順一 神奈川県足柄上郡開成町長
坂東真理子 昭和女子大学副学長・理事
伴野文夫 EU-Japan Fest 日本委員会委員
平野雅章 早稲田大学ビジネススクール教授
雪山行二 横浜美術館館長
王 敏 法政大学国際日本学センター教授
福原義春 かながわ学術研究交流財団理事長

【趣 旨】

グローバリゼーションは世界の地域や国々、あるいは地球市民一人ひとりに大波のように押し寄せ、地域統合、多国籍企業化に伴う格差の増大、デジタル・デバイド、世界の均質化などさまざまな影響を及ぼしています。一方、こうした潮流に対し、個々の生活に最も密着している「ローカル」のレベルがどのように関与すべきか、注目されています。地域社会は、世界秩序と社会秩序の接点であると同時に、対立点でもあります。グローバル化と向き合う上で、風土に根ざした文化あるいは教育の重要性、文化政策の提示などにより豊かなオリジナリティーを実現し、グローバルとローカルの望ましい相互補完関係を確立することが求められています。そのためどのような社会関係資本（social capital）を地域に構築することができるのでしょうか。

基調講演者には、詩人の大岡信氏をお迎えし、その後、政治、経済、都市計画、芸術文化など多岐にわたる分野の碩学である講演者、討議者と共に議論を深め、各学問分野の細分化を越えて、共通の課題を模索し、葉山の地から、地域の社会関係資本の構築へ向けてのメッセージを発信します。

【セッション概要】

◎基調講演

大岡 信(詩人、文化功労者、文化勲章受章者)

『風土と文化の復権こそが、地域、地方、国、世界といった従来の仕組みや関係を変革してゆく原動力になるのではないか』という観点から、グローバル時代の進展に伴い、ますますアトム化する個人の精神的風土を歴史的に検証する。

◎セッション1「文化は世界をつなぐ」(仮題)

大原謙一郎(大原美術館理事長)

基調講演で提起された、文化の視点からみた「グローバルとローカル」の現状について、実践的な立場から問題点を掘り下げ、現代社会における文化、芸術、文化政策の変化と課題、グローバル化との関わりを明らかにする。

◎セッション2「グローバリズムの可能性と限界」(仮題)

藤原帰一(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

グローバリズムの限界とは何か。グローバリズムをかかげて、世界で台頭している力や、ボーダレス時代の問題点について、どう対処していくか。国際経済、国際政治の視点から可能性を探る。

◎セッション3「グローカル時代の地域社会」(仮題)

諸富 徹(京都大学公共政策大学院助教授)

21世紀のグローバル化社会の在り方を、ローカルの視点から捉えなおす。環境・ごみ処理問題、福祉、少子化、教育など、地域の課題を取り上げ、グローバルな視点とローカルな活動を考えることで、グローカル時代のより広い可能性を探る。

◎セッション4「神奈川県に見る21世紀社会」(仮題)

小林重敬(横浜国立大学工学研究院教授)

神奈川県は外国人と関わりの深い歴史を持っており、現在も環境、産業、国際交流、地域づくりなど諸分野でグローバル化に対応する様々な施策を講じている。これらの施策紹介を含め県の目指す方向について講演願ひ、その意義について2日間の議論を踏まえて討議する。

【プログラム】

1日目 3月16日(金) (午後1時開場・受付開始)

- 13:30 開会挨拶
福原義春 (かながわ学術研究交流財団理事長)
趣旨・経過説明
樺山紘一 (東京大学名誉教授、印刷博物館館長)
- 13:40 ◎基調講演
大岡 信 (詩人、文化功労者、文化勲章受章者)
- 14:20 討 議
【冒頭発言者】伴野文夫 (EU・ジャパンフェスト日本委員会委員)
- 15:00 コーヒーブレイク
- 15:20 ◎セッション1「文化は世界をつなぐ」(仮題)
大原謙一郎 (大原美術館理事長)
- 15:40 討 議
【冒頭発言者】雪山行二 (横浜美術館館長)
北川フラム (アートフロントギャラリー主宰)
- 17:20 1日目終了 *17:45 汐入駅行きバス発 17:50 逗子駅行きバス発

2日目 3月17日(土) (8時30分開場、受付開始)

- 9:45 前日のまとめ
樺山紘一 (東京大学名誉教授、印刷博物館館長)
- 10:00 ◎セッション2「グローバリズムの可能性と限界」(仮題)
藤原帰一 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)
- 10:20 討 議
【冒頭発言者】岡部直明 (日本経済新聞上席執行役員・論説主幹)
- 11:15 休 憩
- 11:30 ◎セッション3「グローバル時代の地域社会」(仮題)
諸富 徹 (京都大学公共政策大学院助教授)
- 11:50 討 議
【冒頭発言者】工藤裕子 (中央大学法学部教授)
- 12:45 昼 食
- 13:45 ◎セッション4「神奈川県に見る21世紀社会」(仮題)
小林重敬 (横浜国立大学工学研究院教授)
- 14:05 討 議
【冒頭発言者】鈴木佑司 (法政大学法学部教授)
- 15:00 コーヒーブレイク
- 15:30 総括討議
議長：樺山紘一 (東京大学名誉教授、印刷博物館館長)
- 17:00 閉会の挨拶
福原義春 (かながわ学術研究交流財団理事長)
- 17:10 2日目終了 *17:40 逗子駅行きバス発 17:45 汐入駅行きバス発

【お申込方法】

- ・ FAX 申込書、もしくは E-mail に必要事項を記載してお申込ください。申込締切は、2007 年 2 月 28 日 (水) です。申込者多数の場合には抽選となりますが、結果の如何に関わらず、お申込まいただいた方全員へご連絡いたします。当選された方へは、3 月 9 日 (金) までに参加証をお送りいたします。
- ・ (個人情報の取り扱いについて) ご登録いただいた個人情報は、本会議の運営・登録事務、および当財団のメールマガジン送付以外の目的には使用いたしません。メールマガジンがご不要の場合には、申込用紙のチェックボックスにお申し付けください。

【ご宿泊・お食事】

- ・ 会議は 2 日間連続で開催されます。湘南国際村センターには宿泊施設が併設されておりますので、ご希望の方はご宿泊することができます。予約などの詳細につきましては、湘南国際村センター予約受付まで直接お問い合わせください。〔電話 046(855)1800、月曜日から金曜日、午前 9 時から午後 5 時まで〕
- ・ 2 日目の昼食は、湘南国際村センター内のカフェテリアをご利用 (要予約) いただくこともできます。ご希望の方は申込書の所定の欄にお申込ください。料金は 1,000 円 (税込み) です。

<h1>申 込 書</h1> <p>ファックス番号 046-858-1210 E-mail forum@k-face.org 締め切り 2月28日(水)</p>	
フリガナ 氏 名	
所属	
部署	役職
住 所	〒
電話	Fax
E-mail	<input type="checkbox"/> ←メールマガジン不要の方は <input checked="" type="checkbox"/> をご記入ください。
3月17日(土)の昼食(1,000円)を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	

(財) かながわ学術研究交流財団
事務担当：原 嶋
電話 046 (855) 1822
FAX 046 (858) 1210
E-mail forum@k-face.org